

石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

日時

平成23年11月21日(月) 19:00～20:40

会場

中里小学校 体育館

参加者数

約140名

主なご意見

災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
蛇田・渡波に2000戸・500戸とは、公営住宅を造るのか。	公営住宅ではなく、そのような広さの住宅地を整備する。
大橋の仮設住宅のところに、公営住宅を建ててほしい。	今の仮設住宅から公営住宅などに移っていただき、敷地を確保しないと難しい。できるだけ早く、公営住宅の希望者に入居していただけるよう整備を進めていく。
可住地域の方に災害公営住宅の入居希望の調査票を配らないのはなぜか。	被災市街地復興推進地域については土地区画整理事業等を行うために調査票を配付している。災害公営住宅は全壊の方が対象。
土地区画整理事業が完了しないと住むことはできないのか。	そのようなことはない。
地盤沈下したところに安心して家を建てていいのか。	堤防と高盛土道路の多重防御により守る。
湊町二丁目の更地は買取りするのか。	産業系の土地は買取りだが、住居系は買い上げない。
用地買収時の地価は、どのように考えているのか。	国の指針が示されていない。
中里地区は5日間水に浸かったが。貞山堀や線路などにも囲まれていて避難路がわからなかった。避難路と避難ビルの整備は。	中里地区は堤防等の整備によって今回のような津波の影響は受けない。避難路や避難ビルについては、場所等の検討にもう少し時間をいただきたい。
住吉地区には、巻石などの観光資源もある。河川堤防は整備の具体案は。	現在はまだ決まっていない。どのような整備がふさわしいのか、地域の方々の意見を伺い決めていきたい。【回答;北上川下流河川事務所長】

市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
応急仮設住宅の入居可能期間は基本2年ということだが、民間賃貸住宅の借上げはどのようになっているのか。	国からの通知で応急仮設住宅につきましては1年毎の延長更新も可能である。民間賃貸住宅の借上げについては応急仮設住宅と同様の取扱いとなるよう要望していきたい。
生活再建支援制度の申請期限について、土地区画整理事業の事業期間が平成32年度までとなっているので、延長してほしい。	期限の延長を強く要望する。
石巻市では義援金、支援金の内訳などを公表していないのはなぜか。	市報、ホームページで公表している。なお、義援金の第3次配分については、市が直接受け入れた分は現状だと配分額が少額なので国・県の第3次配分と合わせて支給したい。決まり次第、お知らせしたい。
市立病院の移転場所、学校の移転場所の具体の案は。	市立病院は市内全体のバランスを考えて建設場所を検討していく。学校は地域の皆様などの意見をいただきながら、また、今後のまちづくりとの整合性を図りながら検討していく。
ボランティアの受け入れはいつまでか。ボランティア活動を、断られたとの話をされていた方がいるしっかりと対応してほしい。	受け入れについては、ボランティアセンターの状況を見ながら判断していきたい。個人ボランティアはボランティアセンターで、NPO、団体については災害ボランティア協議会が対応している。そこでニーズを把握しながら展開している。ボランティアの方々には大変感謝している。

自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる

質問・意見	回答
観光と伝統産業で振興を図るとあるが、堤防の高さと矛盾があるのではないか。	水と緑のプロムナード構想というものがあるが従来からあり、その中で威圧感の無い、北上川と一緒に生きてきた石巻に即した堤防をイメージしている。観光との結合を図りながら対応していきたい。

未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
太陽光、バイオマスは、雇用に結びつかないのではないか。雇用対策としてどのようなことを考えているのか。	中核産業群である紙・パルプ・木材・水産加工業などの復興に向け、港湾などのインフラの復旧を進めていくような施策が必要と考えている。また、既存の企業の復興と併せて新産業の創出なども進めていくべきという考えで記載している。雇用が人口流出を抑制するためにも、太陽光、バイオマスなども雇用を生み出すが、コールセンターなどのさらに雇用効果の高いソフト企業の誘致に取組んでおり、数社決まっている。また、自動車関連産業の誘致も進めている。